

神埼市のさらなる発展を願い 新年祝う年詞交歓会

1月4日、JAさが神埼地区中央支所で、新春恒例の神埼市年詞交歓会が開催されました。行政関係者や地元商工業者など約300人が出席し、新年のあいさつを交わしました。



松本市長は、会の冒頭、「魅力あるまちづくりのためには市民協働が必要不可欠。多くの市民や企業の皆さんに賛同いただき、一緒になって考え参画し、行動していただきたいと願う。素晴らしい神埼市を一緒につくりましょう」とあいさつ。市文化連盟による祝舞も披露され、和やかに歓談が進みました。

最後は、神埼市の発展を祈念して万歳三唱で締めくくられました。



火の用心、消防団出初め式

1月6日、神埼中央公園グラウンドで神埼市消防団の平成25年出初式が開かれ、団員664人が参加しました。

午前8時、寒風を吹き飛ばす軽快なラッパの音とともに、中部隊（神埼町）のパレードが神埼町4丁目をスタート。沿道の子供達は、大きなポンプ積載車に目を輝かせていました。続く出初式では、団員による通常点検、分列行進が披露された後、各種功労者の表彰が行われました。

久保敏之団長は、訓示で、年末警戒の労をねぎらい「市民の生命と財産を守るため、一段と努力する必要がある」と結束を呼びかけました。

式の後には、第一分団と第七分団第二部による馬簾回しが勇壮に披露されました。赤・緑・青などの水を放水し、締め込み姿の団員が支える馬簾が勢いよく回ると、会場から歓声と拍手がおこりました。



野中選手がふるさと納税

プロ野球オリックス・バファローズの野中信吾選手（神埼町出身）が、神埼の未来を担う人材の育成に役立ててほしいと、ふるさと納税をされました。



毎年訪問され、今回が6回目のふるさと納税です。ありがとうございました。

野中選手は「神埼が大好きです！」とふるさと神埼市へメッセージを送られました。

ふるさと納税は、ふるさとへの“思い”を形にするため実施されています。

プロの指導を肌で感じて



12月23日、神埼中央公園グラウンドで、プロ野球オリックスバファローズの野中信吾選手を招いての野球教室（神崎市体育協会主催）を開催しました。

当日は、神埼中学校、千代田中学校の野球部員が参加して、野中選手から打撃や守備について指導を受けました。普段、間近では見ることのないプロ野球選手から指導を受けた子どもたちは、目を輝かせて練習に取り組んでいました。

野中選手の今後の活躍に期待し、熱い声援を送りましょう。

戦没者の冥福を祈り巡礼

12月7日、神崎市遺族会の代表者が市内の戦没者慰霊碑を巡礼しました。

遺族会では、例年、地元の方々を中心に慰霊碑の清掃等を行っていますが、より広く慰霊碑の存在を知ってもらい、祀られた犠牲者の御霊を追悼する目的で今年初めて実施されたものです。



この日は、遺族会の役員を中心に、脊振小学校、仁比山小学校、西郷小学校、市役所横に建立されている4カ所の慰霊碑を回り、冥福を祈り手を合わせました。

吉野ヶ里メガソーラー一起工式

12月11日、佐賀県が神埼町竹原地区の旧吉野ヶ里ニューテックノパーク跡地に計画してきた「吉野ヶ里メガソーラー（仮称）」設置工事の起工式が行われました。



起工式は、設置者となる佐嘉吉野ヶ里ソーラー合同会社の代表である㈱NTTファシリティーズのほか、県、地元市町関係者および地元地区住民等が参列して開催されました。この起工式をもって県内最大規模のメガソーラーとなる発電施設の設置工事が開始され、今年6月の発電開始を目指して工事が行われます。

ホクホクのお芋 おいしいな

12月13日、ちよだ保育園で焼き芋会が行われました。

おじいちゃんやおばあちゃんと一緒に保育園の畑で植栽と収穫を行ったサツマイモを、きれいにアルミホイルに包み、集めた落ち葉の中に入れて焼きあがり



りを待ちました。湯気を立てる香ばしい芋が焼きあがると園児たちは大喜び。「熱々でおいしい」「おかわり」と口いっぱい頬張っていました。



防災を兼ねて地域の絆を!

12月23日、志波屋地区では老人クラブ、子どもクラブ、婦人会、消防団の共催で、ミニ門松作り、餅つき、災害時の炊き出し訓練が行われました。同時に消火栓を利用した放水訓練も実施されました。

地区住民80人ほどが公民館に集い、子どもたちは大人から縄ないや餅のまるめ方を習ったりして大賑わいとなりました。子どもから高齢者まで一堂に集まり、防災を兼ねて地域の絆を深めた1日でした。



ふるさと カメラ点描

「吉野ヶ里公園と渡り鳥」



吉野ヶ里歴史公園には西口から入ると、環壕集落跡の手前に3つの池があり、この季節はたくさんの水鳥が泳いでいる光景が見られます。大半はカモですが、多い日には数百羽の鳥を確認できます。雪景色となったこの日も数十羽ずつが群れをつくり羽を休めていました。晴れた日には暖を取っているのでしょうか、岸に上がっている姿も見かけます。カモは冬を越すため寒冷地から飛来する渡り鳥で、越冬中にカップルが誕生。鳥の夫婦愛はよく知られるところですが、カモも春になると仲良く連れだって北へ帰るといことです。

スカイプで国際交流

12月12日、神埼小学校の4年生が、上海日本人学校の4年生とインターネットのテレビ電話「スカイプ」を利用した国際交流を行いました。



神埼小学校では、ジャパンアートマイル主催のアートマイル壁画プロジェクトを活用し上海日本人学校と共同で国際交流壁画制作に取り組んでいます。



今回のスカイプ交流は7月に続き2回目となり、両校の生徒が自分たちの町に関するクイズを出してふるさとを紹介したり、制作する壁画のテーマである「未来に残したいもの」についてのアイデアを出し合いました。

それぞれの壁画は郵送で交換し、絵を書き足して仕上げます。3月頃に完成する予定で、完成した作品は日本でも展示される予定です。

仁比山小学校見守り隊が 県防犯協会・県警察本部長表彰

仁比山小学校見守り隊の方々は、児童のために、毎日登下校時の指導を続けてくださっています。

この度、安全で安心な街づくりのための積極的なボランティア活動が認められ、県防犯協会・県警察本部長表彰を受けられました。



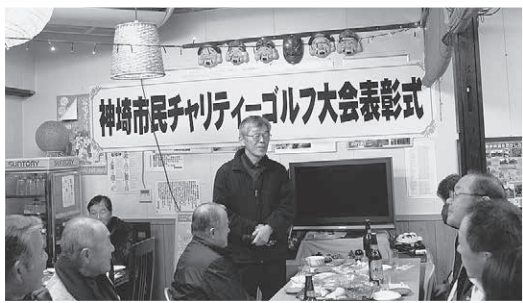
引き続き『東日本大震災への復興支援』を

12月27日、神埼市中央公民館で、新しく選出された市内の3中学校の生徒会役員48人が出席し、「第3回神埼市中学生サミット会議」が開催されました。

会議では、「先輩から学ぶ」として、16年前の千代田中学校生徒会長の宮崎美香さんが「インドの学校建設支援」の取り組みを話されました。3人の新生徒会長による決意表明の後、「かせち条約」の取り組みや、東日本大震災支援のためのアルミ缶・プルタブ回収などの活動を報告。合計20,800円の支援金は、生徒会活動に使っていただくために気仙沼市立大谷中学校に送金、そのお礼の手紙が送られて来たことが報告されました。また、ペットボトルキャップ回収の結果、54人分のポリオワクチンを贈ることができました。クリーン作戦への参加は52%で昨年を10%上回りましたが、より一層の頑張りが期待されます。



最後に、来年の神埼市内全中学生が取り組む活動として、「引き続きアルミ缶・プルタブ回収と書き損じはがき回収による東日本大震災への復興支援」と「被災地の人からの話を直接聞き、被災地の学習」に取り組むことを決めました。



チャリティーゴルフ大会で寄附

12月9日、第7回神埼市民チャリティーゴルフ大会が日の隈カンツリークラブで行われました。当日は晴天に恵まれ、77人が参加して熱戦を繰り広げました。

大会はチャリティー大会として開催し、多くの参加者に募金に協力していただきました。集まった総額26,234円は、神埼市社会福祉協議会に寄附されました。ご協力ありがとうございました。

【大会結果】 ○男子の部 優勝 坂井 清紹
 ○女子の部 優勝 辻 せつ子
 ○団体の部 優勝 神埼クラブ

準優勝 柿添 宏樹
 準優勝 大櫛きみ子
 準優勝 神納クラブ

